

## 1. 全体の概要

身体障害者向け座位保持椅子・装置の屋内用電動化ユニット「BabyLoco」、介助用車椅子の電動化ユニット「CarryLoco」を開発した。対象者は1～15歳で、電動車椅子の支給対象となる学齢期前でも安心安全に使用できる仕様とした。

BabyLocoは可能な限り電動車椅子の規格に沿った評価を行っている。実証試験は対象者4名にテストコースを用いた走行試験を実施した。2020年6月より営業デモを開始、同年秋に全国発売する。

CarryLocoは機構設計まで完了している。

## 2. 開発した支援機器またはシステム（BabyLocoとCarryLoco）

BabyLoco外装カバーの発泡ポリプロピレンは意匠性と衝撃吸収性を勘案して選定した。椅子の取り付けを容易にするため、取付面にアルミフレームを埋め込んでいる。足台兼バンパーに穴があり、搭乗者の足がはみ出る場合は、足台を延長することが可能となっている。

CarryLocoは介助用車椅子に合わせた幅調整機能を備えている。車椅子フレーム、または後輪を持ち上げて保持し、CarryLocoの駆動輪と車椅子の前輪で電動走行が可能となる。



図1 BabyLoco外観



図2 電波試験の様子



図3 テストコースでの実証試験

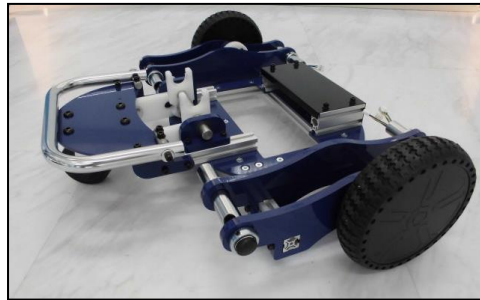


図4 CarryLoco外観



図5 介助用車椅子の取付け

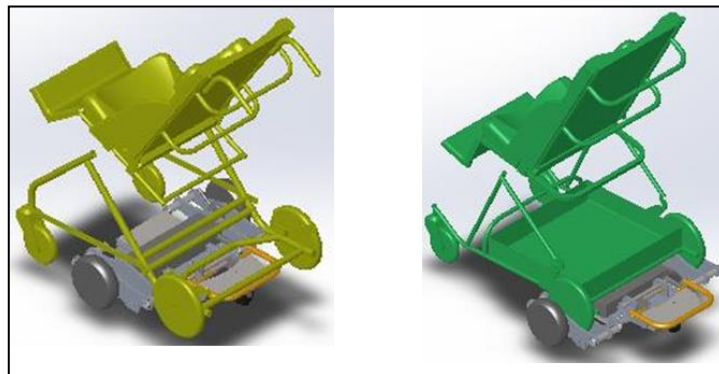


図6 中輪駆動方式と後輪駆動方式の違い